

科目名	経済学	科目コード	10440
-----	-----	-------	-------

学科名・学年	全学科・5年（プログラム2年）
担当教員	佐藤 公俊（一般教育科）、鈴木 敏紀（上越教育大学）
単位数・区分	2単位・選択
開講時期・時間数	通年，60時間【内訳：講義60】
教科書	前期はプリント等配布、後期は担当者から指定
補助教材	プリント、ビデオ、ウェブ、プレゼンテーション
参考書	授業中に指示

【A．科目の概要と関連性】

- ・ 社会経済体制としての資本主義経済や市場経済と外部との関係を考察し、社会経済についての alternative な市場至上主義的でない理論の設立につとめ、将来のあるべき社会を展望する。
- ・ 近代ヨーロッパ経済史を概観し、同時に経済理論の流れを概観する。アダム・スミス、カールマルクス、ケインズなどの著名な経済学者の理論がどのような背景を持って構築され、そして20世紀末から21世紀初頭にかけての現代資本主義経済と経済理論はいかなる問題点を抱えているのかを考察する。

関連する科目：現代社会、歴史、法学、社会学、歴史学 / 、哲学、

【B．到達目標と学習・教育目標との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育目標の(A1)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育目標との関連を以下の表に示す。

到達目標	評価の重み	学習・教育目標との関連
現代の社会経済の基本構造についてのキーワード、概念、論理、理論を理解する。	25%	A1
市場経済と外部との関係を考察し、alternative な理論を理解する。	40%	A1
経済理論体系とその構築の歴史的背景を理解する。	35%	A1

【C．履修上の注意】

新聞記事の経済欄、社会欄に目を通しておくこと。それとともに将来自分が社会人になった場合のことを想定して、自分がどのような社会的立場、ひいてはどのような世界的立場にあるかを考える習慣を身につけてもらいたい。

【D．評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。
定期試験【75%】（前期末（40%）、後期末（35%））、レポート等【25%】

【E. 授業計画・内容】

前期

週	内容	備考
1	ガイダンス：市場経済と外部	
2	社会経済理論の成立、アダム・スミスの社会理論	
3	市場理論：市場生産価格均衡と需給均衡	生産価格論、均衡論
4	結合生産、固定資本、企業資本：不完全生産価格均衡	スラッフア、スティードマン
5	生産価格と外部：外部からの外部性の問題	
6	組織，制度、外部からの外部性による不完全性	マーシャル
7	企業と組織	マーシャル
8	生産現場と企業組織：不完全性、被サポート性	
9	市場経済と外部：外部からの外部経済と剰余	
10	市場経済の外部（制度、公共財、社会的共通資本、自然的共通資本、グローバルコモンズ、世界的公共資本）	宇沢弘文
11	地球環境資本とサービス	環境白書、国連報告
12	市場経済と外部：政府経済，家計経済，市民社会経済	
13	不完全均衡と調和、創造、規律：自由と効率	
14	公正、自主性、自律性、情報、市民的民主的決定	
-	前期末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	

後期

週	内容	備考
1	物語としての経済学	
2	ヨーロッパ世界と近代経済	
3	マネーゲームと「国民経済」の展開	
4	貨幣と富と労働と	
5	資本制経済の胎動	
6	資本制経済をどうみるか	
7	資本制経済の変貌	
8	経済競争の変化と消費者の登場	
9	新古典派の経済学の登場	
10	市場経済の実証分析と規範分析	
11	国際機関の設立へ	
12	経済学の新しい展開	
13	市場の役割と政府の役割	
14	大衆消費社会の到来	
-	学年末試験	試験時間：80分
15	試験解説と発展授業	

